

230909 バリアフリー 35人+ネット 20人  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

羽田：辻さんに代わって急遽司会

斎藤：昼前に辻さん入院

数か月前にやろうと当初企画

6月の差別問題 目まぐるしく変化 延びた

2018年会ができ、はっきり「エレベーターはつけない」と市は宣言した。

名古屋城問題はどうなっているのか シンポしてきた

名古屋城総合事務所 毎年担当主幹が話し合いを進めていく

毎回参加してきた

お互いの意見を出し合って学び合っていく

初代、2代シンポに来た

この4月3代目が変わった「出席をしない」

最初は出ると言っていた

後のパネルディスカッションで説明するが、河村市長も面談拒否

従来話し合い 市長自身が出した方針

今日改めて6月3日差別発言がなぜ起きたか テーマではないが考える

名古屋城木造復元 どういう

赤羽さんはじめよろしく

羽田：全体整備検討会議委員 赤羽さんにお話しいただく

赤羽：こんにちは ながったらしい肩書

名古屋城跡全体整備検討会議 構成員

名古屋市文化財や大学非常勤をやっていたが、

現在はまったく無職 石垣部会に所属

今日の講演の講師を仰せつかった

レジュメ ゴジラの写真 1964年 昭和39年

モスラとゴジラ 名古屋に攻めてきて名古屋城を壊す

いったいだれなのか 想像豊かな皆様にはおわかり

私は宝田明と共演した

1962年に長野県に名古屋の大学に入学

名古屋学生会館に住んでいた

二の丸広場 芝生にあった

いろんな大学、短大、専門学校 200人くらい住んでいた

1963年 学生アルバイトの募集 映画 逃げ惑う市民

時給 100円 3時間 いい時給

大規模なミニチュアを作った

いくら時間があっても足りない

木造天守計画はどこまで進んでいるか

①2012年 名古屋城整備検討会議 将来計画

こうあるべきだ 充実させるもの

現在は、本丸の木造天守をどうやっていくか 専門的見地からご意見になっちゃっている

11年前 現天守耐震診断に基づいて耐震改修 提案

コンクリート なおかつ展示機能充実

②2013年 河村たかし 木造復元調査費計上

多くの委員 同調

③2017年 木造可決 竹中工務店

④2022年 2028年に再度延長

## ②木造天守計画の課題

10年 いまだ着工のめどすら立っていない

最大の理由 木造天守復元 なされたときにクリアされていないといけない課題

まったくクリアされていない

職員、マスコミ、議会 声が上がらなかった

甚だ残念

この実行委員会 4年前の6月 2019年

北区役所ホールで話した

名古屋市が解体と復元を合わせて文化庁に許可申請しよう

→めどが立っていなかった 解体だけ先行して許可して 直後

びっくりぼんの作戦

功を奏さない

文化庁 継続審議

河村市長 2022年竣工不可能認める

解体だけ継続審議 3つある

①石垣の保存管理計画が不十分

進めたい人は「とんでもない人」

特別史跡 史跡の中の史跡 史跡の国宝

地面に刻み込まれたもの

②バリアフリー 不十分

③現天守の歴史的意義の検証が不十分

どこまで進んでいるか？4年前とほとんど変わっていない  
解決されていない

驚き 行政体の仕事の進め方としてもびっくりぽん

現天守解体と復元するための仮設物

搬出道路、大型クレーン、覆い屋根 仮設物

天守台石垣に与える影響

土木工学「大丈夫」

私文科系 言えない

名古屋城 石垣がすきまだらけ

小さな石 間詰石 ボロボロ落ちている

隙間だらけの石垣をどうするか

昭和20年 米軍の焼夷弾 石垣が熱を帯びている

被熱 剥離、ひび どうするか

仮設物を設ける前に隙間だらけ石垣、剥離石垣どうするか

全く検討されていない

基礎構造 「史実に忠実」

地下にケーソンというコンクリートの箱の上に、現天守が載っている

ケーソンそのものは活かして、木造復元しよう

これは史実に忠実？

基本的なところ 史実に忠実？

基礎の構造が決まっていない

石垣の天守台 穴蔵（地階）調査 進んでいない

上にコンクリート天守が載っている なかなかしんどい

学芸員 一生懸命調査している 涙ぐましい

上から指示を受けてやらざるをえない 敬意を表したい

「コンクリート天守を撤去して調査すればいい」

バリアフリーの問題 進んでいないだけでなく、

6月市民討論会暴言、市当局の対応

現天守解体ありき コンクリート天守耐震診断、記録化 進んでいない

4年前とほとんど進んでいないと言わざるを得ない

## II 木造天守復元の現代意味は何か

天守はどういう機能を持っていたのか

①天守の役割 実用性、眺望、要塞、司令塔 軍事的意義

城主の権威誇示 象徴

儀式や迎賓の場

城主や部外者 立ち入りを抑制する

物置、空き屋同然

名古屋城の天守はどんな役割？

慶長 軍事的意義は帯びていた

政治的権力誇示、「みせつける」役割

関ヶ原の後 豊臣勢力に見せつける 見え見え

駿府に隠居 9男坊義直のために作る

大阪のミュージアムに保存されていた

1612年 「うちすまいは無用。はしたいたちまちつかまつり」

居住空間じゃない。内装はほどほどにしておけ

渡り廊下 橋台 工事を急ぐように

家康 橋台は軍事的に大きな意味を持っていた

堂々たる外観があれば、中は空き家同然でもいいのではないか

史実に忠実な名古屋城 質素なもの

見てもらうのはどういうことか？

どうする家康 やゆするようなドラマ

合理的な考え方ができた人間だと思う

## ②名古屋城の国指定建造物

西南、東南、西北隅櫓

表二の門、大手二の門、東の門が重要文化財

西北隅櫓 大きなホテルの対面にある

清州城から持ち込まれた部材を使われている

16.8メートル 非常に高い

残っている12天守 備中松山城 11メートル

弘前城 14.4メートル

宇和島城 15.7メートル

西北隅櫓は天守に相当する

木造天守を復元しなくても、隅櫓、門で楽しめる

私は考古学 地面に刻まれたもの

史跡の中の史跡 全国区の史跡

堀、土塁、石垣 第一義的な価値がある

建造物に特化しなくても 再認識して

全国的な観点

### ①天守の種類

現存天守 12 創建当時のまま

5つが国宝 7つが重要文化財

姫路城、松本城、犬山城

## 戦国期多くの城

明治4年 太政官通達 廃城令

明治維新後 陸軍省所管に

軍用に用いなければならないものは存続

そうでないもの 大蔵省所管で破却

143か所の城が破却

犬山城、松本城、丸岡城 対象

→地元篤志家、熱意で残った

犬山城 成瀬さんに下げ渡された

松本の高校 敵の兵糧玉 天守閣まで打ち上げろ

名古屋城天守真新しかった

私は松本城がよい 名古屋にいと、名古屋城に対する思い入れ膨らむ

第2次世界大戦で焼けた

木造復元天守 資料が残っている 創建当時の材料 忠実 6箇所

河村市長が狙っている復元の在り方

豊田市 足助城 天守閣を作りたい！真っ白な城イラスト

県の職員をしていた 町長と会った

やめておけ ないものを作ってどうするか

納得していただいた

今は高殿 やぐらみたいなものを復元した

掛川城 新幹線で見れる 監修された方が足助城櫓も監修

外観復元天守 資料は残っている 鉄筋コンクリート造 10

名古屋城、大垣城、熊本城、岡山城

復興天守 資料は残っていない 11

徳川が築いた大坂城、岡崎城

模擬天守 異なる場所に再建された、天守が確認されていない 55件ほど

吉田城、小牧城、清州城、岩崎城、旭城

東郷町に住んでいる 岩崎城たびたびいく

小牧長久手の戦い 学術調査がされている

縄張り、遺構 井戸跡があることがわかっていた→天守が作られた

金持ち、池がある 池をつぶして不動産業

国の史跡に指定されてもあたりまえ

家康 岩崎城力を入れていた 嘆いている姿

旅館 天守閣風建造物は除く

90件を超える天守閣

天守の活用 展望台 教育施設

名古屋城の木造天守 ビジョンが浮かんでこない

中身はどうなのか？見えてこない 市が具体的に提示していない  
バリアフリーについて

天守だけではなく城郭全体、アクセスを含めて対象 考えるべき

全国でどんな状況 ネット

著名な天守 エレベーター 大坂城、名古屋城、岡山城、熊本城、

バリアフリー新法 2006年以降 尼崎城1件だけ

模造天守にエレベーターがあるのは珍しい

木造天守対エレベーターはシンポジウムで

とりあえずおしまい

羽田：時間が迫った

名古屋城敷地すべてが名古屋城

お城は天守だけでない

トイレ休憩 14:25まで

14:16

14:24

羽田：櫻井弁護士から

櫻井：日弁連人権救済申し立て

3つある

バリアフリーの調整

日弁連人権救済申し立てとは 仕組みについて

この実行委員会が日弁連に申し立てした

実行委員会の代理人

そもそも日弁連とは何か 全弁護士が加盟

仕組みの一つ 人権救済申し立て

人権擁護委員 調査して除去、改善

裁判所みたいに権限があるわけではない 意見表明

中身 警告、勧告、要望

程度に応じて 今回は要望

人権侵害がないわけではない 侵害、おそれがある

そんなに人権救済申し立てあるのか？年に数件

刑務所の人権侵害、指紋データベース削除、エレベーター、

2019年1月 申し立て

2022年10月 要望書

3年半以上かかっている

日弁連 調査をする 専属弁護士が常勤しているわけではない

月 1 回会合

愛知県弁護士会委員会

日弁連委員会

普段の業務とは別にやる

問題の所在 2 つ

・エレベーターを設置しないという方針の人権侵害

・公募と方針の関係

エレベーターを排除しないようにも読める

方針「バリアフリー新法に対応するエレベーターは設置できない」

エレベーターは想定できない

要望の内容 現在の名古屋城天守閣にはエレベーターが設置されている

あえてエレベーターを設置しない 差別されない権利・利益を侵害している

合理的理由なく差別する

憲法 13 条、14 条 1 項、障害者権利条約 5 条 1 項 2 校、障害者基本法や障害者差別推進法に違反

最上階までのエレベーターを設置するよう要望

理由：憲法 13 条、14 条 1 項

一番重要 幸福追求権、平等権

限定列举ではない 障害でも差別されない

障害者権利条約

障害者差別解消法 7 条 1 項

名古屋市差別解消条例

障害者基本法

公共施設であることには変わりはない

歴史的建造物を再建する意義 軍事的に用いるわけではない

市民に認識 個人の知的好奇心、知を共有して文化財を残すべき思いを市民が一つにできる

天守閣から城下の景色を望む

単に入れるだけではなく、一番上から見ることに醍醐味

要望に線 現存の名古屋城 利益を享受できている

公共施設の建て替え事業 奪うことになる 不当な差別的取り扱い

名古屋市の主張 今後新たに考案・開発された昇降技術で代替できる

→何も示されていない

説明すれば配慮したことにはならない

他の城 エレベーターが設置されていない

掛川城 権利条約批准前

姫路城 国宝 改変は制限がある 参考になる  
大阪城、熊本城はエレベーターが設置されている  
バリアフリー新法 一定以上の大きさのエレベーターが必要  
市 適用除外認定を想定している  
→差別解消法等の差別禁止違反の問題がなくなるわけではない  
適用除外となっても、バリアフリー新法の要請を免れるものではない  
文字通り史実に忠実な建築はそもそも不可能  
あえて障害のある人の昇降を著しく困難にするエレベーターのない天守閣  
再現が必要とは到底考えられない  
「原型の再現がやむを得ない」とはいえない  
差別解消条例 職員対応要領  
市長 空虚に感じる

羽田：わかりやすい

シンポジウム 名古屋城総合事務所が来るはずだった  
共同代表から国際コンペ移行

斎藤：別刷り 要望書

8月30日 わっぱの会懇談会

実行委員会

さいとうまこと市議が今年引退

夏ごろ障害各局と話し合い バリアフリー問題

2018年以降 河村市長がエレベーターつけない方針

バリアフリー担当主幹 障害者団体との話し合い

初代 環境局で仕事 住民との話し合い

熱心に話しする

4月から3代目 拒否

わっぱの会 話し合いに応じる

木造復元バリアフリー 6月3日生じて すべての議論が止まっている

質問事項 6月3日 質問せず、問わない

現時点での問題整理 今後に向けて

そもそもバリアフリー担当主幹の枠割とは

市長が言う史実に忠実な復元の中でのバリアフリー

初代、2代目 向き合って話し合い

3代目 丁寧な説明や発言を行う 変わっていない

II 団体限定

市民アンケート、市民討論会 説明がなかった

不十分な点があったことは認める

昨年の段階 市民アンケート、討論会 一切出てこなかった

今年の初めもなかった

市長や副市長 最優秀者決定 小型昇降機自体をつける 市民から市長副市長に

抗議を受けた あらためて市民の意見を聞かないと

市長副市長レベルで判断した

伝わらなかったのは申し訳ない

強い要望が起きてきたのか？ どれくらいあったのか

何件把握しているはず 言葉を濁した

あまり大した数ではない

4 番 新技術を作る 国際コンペをやるという方針

最優秀者にして 8000 万円資金を渡して更なる開発

2 億円予算でしっかりとしたもの

決定事項ではあったのか→そう

市長自身がコロコロ姿勢を変える

柱や梁を傷つけない 小さなエレベーターを入れる

面白くない

全くつける必要がない 揺れ動いた市長に振り回されてきた

去年 12 月以降自分が決めたことを踏みにじた

市長が「エレベーターつけない市民に参加してもらいたい」討論会

平気で差別発言 「今日の討論は活発だった」

11 団体 特定の団体 理解を求めるのはおかしい

勝手に市の当局が決めた 多くが全国組織の下部組織

そうじゃないのはわっぱの会、AJU くらい

障害者と話をするのなら広く話をすべき 聞くだけで検討

まったくおかしい 検討すべき

初代主幹から、最上階まで行けるのは重要

5 階まで行くのは必要

小型までも 5 階まで 11 団体の意見表明

国際コンペ 間違いないか そういう検討

決定してから技術面で検討

来年度 政策 今年度予算 史跡全体のバリアフリー決まっている

はじまっていない

最優秀者 初代主幹との議論 この程度しかない

バリアフリーとは言えない

原点に戻って、最優秀者の技術 こだわっても解決にならない

実現にならないと求めた

シンポジウム 市 参加する姿勢

6月3日問題 参加を取りやめたい  
議論 7月25日 全国ネットワーク視察  
豊田で全国会議 市の対応が悪かった  
視察直前 前の週まで各議員願い  
場所がないから市役所に移動せよ  
真夏 合理的配慮に欠ける

ホテルを会場借りた

記者会見資料  
出席します 参加できません  
8月30日 参加できません 局として決めたこと

名古屋城 日弁連要望11月 回答すると言いながら引き延ばし

どうして回答しないのか文書、最優秀作発言文書、市長ふらついた発言  
従来なら文書出せば回答が来た  
日弁連要望が出た後、一切市としての回答拒否

6月13日市役所前抗議行動 市長が出てくる 前日電話  
当日ドタキャン 申し訳なかった  
あらためて会います 実現しない  
怒りのマグマ

問題を整理して

混迷した名古屋城 2020年建てる→いつたつかわからない  
予算の無駄遣い年間1億円  
市議会も緩やかな対応  
実行委員会としても障害者のみなさんと

8月21日 市長と会見 市長から代表に会いたい

市長の姿勢は全く変わらない  
ネットワーク 「地元の団体と話し合え」  
→けんかになってもいかんので 逃げの姿勢

市議会議長、団長と意見交換

自民党団長 どうだ？5階まで検討 賛成か？  
減税日本 賛成と発言

河村市長 自民党に抗議文

「そんな発言はしていない、謝罪せよ」

どちらが正しいのか 議員ネット 確認した

「減税日本 間違いなく5階まで小型昇降機を検討する」

河村市長は

羽田：腹立たしいことばかり

名古屋市民オンブズマン 内田から6月3日後に判明したことの説明

内田：名古屋市民オンブズマン 内田

税金の無駄使いという視点から8年ほど名古屋城問題を追いつけている

市議会はこれまで木造復元事業をほとんど追及してこなかった

6月3日発言があった後、ようやく追及するように そこで判明したこと

2022年11月末にMHIを最優秀候補に選ぶも、市長が認めず。

「3階まで」「1, 2階までが合理的配慮と言える」など、日によって変化。

名古屋城総合事務所は「1階までは確保。より上層階を目指す」

間に入った副市長は「当初は設置せず後から設置、もしくは1階まで設置」。

市長と副市長と総合事務所の意見が食い違う異例の事態。

とりあえず市民の意見を聞くことにし、5000人アンケートと

6月3日の市民討論会を開いた。

しかし、その後のスケジュールが全て決まっており、6月20日には市長が文化庁に基本計画書を持参することになっていた。

「市民の意見を聞く」という形をとるためのアリバイづくりだった。

現在、差別発言検証委員会が第三者を含めて行われている。

そもそも人権問題について市民の意見を聞くこと自体誤っている。

当日の発言だけでなく、どうして討論会を開いたのか、日弁連の勧告なども踏まえて検証してもらいたい。

羽田：名古屋城は本当に立つのか

赤羽：バリアフリーVS木造天守

膠着状態が続くのでは

6月検証委員会 発言どうこうではなく、

あそこで

会議の結論がどうであろうと、河村市長の意見は変わらない

市長云々する会議ではない

バリアフリーと木造 膠着状況は続く

どう打開するかいつも考えている

会議に出てくるのもいいのか？

木造天守そのもの 現天守たたき壊して木造天守 反対

このことを申し上げたい

現存天守 長い時間 当時の歴史を教えてくれる 文化財

伝えられたものを伝えていく

新たに木造天守を作る意味

現代的意味

時代における意義を考える必要

現代 木造天守は非常に「非情」な建物

戦国期のお城 天守

なんで今復元しないといけないのか 納得いかない

逆に実行委員会

本当に木造天守を希望しているのか？

エレベーター欠かせない 考えていらっしゃるのか

選択肢であって、木造天守でなくても、建てる場合はエレベーターが必要

&か if なのか

大きな建物 今日的な意義を問いつけないと

羽田：会場からの意見

斎藤：そもそも実行委員会

木造復元やる 名古屋城やるという河村市長

議会も認め、予算 突き進んでいく

当然バリアフリー実現すべき

現在7階 5階までしか上がれない

完全なバリアフリーにはなっていない

最上階まで行けるように 否定するような河村市長 疑問

木造復元がいいか悪いか考えていない

あれから5年6年 見通しが無い

河村市長の姿勢 たたないと思う

耐震改修やると方針 こんなことにはならなかった

2018年 中に入れなかった

観光収入大きな減 損害を与え続けている

木造復元を諦めて、耐震改修にしてはどうか 個人としては思っている

小川：共同代表

木造天守 いい悪いは思っていない

5階まで行ける 入れなくなった

木造天守になったら、エレベーター 1階まで？

障害者が排除される

市民の思いを一つにする

思いを一緒に出来ない

エレベーターつけるのは絶対必要

羽田：論議はずいぶんされている

もう予算通ったので

名古屋城どうこうは論議しなくバリアフリー はじまった  
会場から

森：北区の森

現行の名古屋城天守 有形文化財登録を求める会

文化財として価値 登録可能

史実に忠実な建物？

昭和 20 年燃えて、昭和 34 年に建て替えたのが史実

伝えるのが現天守

現在の建物が価値がある

羽田：質問でも

平山：河村市長は障害者団体はらちが明かない

名古屋市立大学に千田さんが赴任した

千田さんに赤羽さんから言ってほしい

羽田：千田先生が来た 提言してほしい

赤羽：城の大家である千田先生

もともと名古屋出身

名古屋に戻ってくると聞いている

今月来週 石垣部会がある

千田さんともあう

相談してみる

僕は河村さんに会うのは好きではないが、要望があれば市長と会う機会

羽田：やってくださる

あつや：小島福社会所属

名古屋城木造復元そのものの意義を見出せない

後世に名を残したいだけ

修繕費 負の遺産

世論を巻き込みやすいのでは  
バリアフリー 世論の巻き込みやすい  
負の遺産になる可能性

羽田：運動の提案

木の天守 ランニングコスト 負の遺産？  
木造天守は  
市民にアピール

斎藤：予算を使ってしまい、まだまだ使う

観光収入が入ってこない  
観光収入増でかかった費用を賄う  
税負担ではない  
→まったくなくていい  
どんどん市民の負担 実質的にかかっている  
方向転換した方がいいのかも  
会ったところで、市長 見解を変えないのはあきらか  
2018年「本物を見るのがバリアフリー」  
今もそのとおり  
1-2階昇降機が合理的配慮 理解しようとしな  
木造復元はやめるべき  
本当のバリアフリーを実現するように

羽田：実行委員会としては大きい方向転換

櫻井：負の遺産 お金の面

障害者ネットワーク 8月21日 真ん中  
木造 車いすが入れない場合、車いすユーザー 入場できない  
世界中が落胆  
一部「障害者いいすぎ」  
障害者権利条約 道半ば  
差別的な思想がまだまだまん延している  
昭和50年代まで教科書に「優性思想に基づき子孫は残すべきではない」  
「木造でできました」  
世界、未来から見てどう思われますか？  
「恥の建造物を建てることに」  
今は差別思想

社会の人、世界の人 「名古屋の人は恥ずかしい建物作っちゃったんだ」

羽田：金銭的な負の遺産だけでなく、精神的な負の遺産に

西浦：南区

河村 木造名古屋城

すでに既定で出来上がる 資料を配ったり、竹中ビデオ  
既定方針だ

それから7年 お城 木造を進めたい やってきた  
文化庁も受け付けてくれない 名古屋城閉鎖した

ここへ至って、差別発言 市民説明会

名古屋城 木造化自身が大きな問題があり、木造建築

「差別の城」を作ることになるのでは

河村さん 自分の売名行為しか頭がない

市民の声を聴く気がない 有識者発言聞く気もない

建設会社提案も見っていない

とにかく木造を建てる

本物を見るのがバリアフリー 1階から2階 合意的

僕たちは木造がいいか悪いか議論

河村市長という市民の声を聴かず、勝手に進める独裁的なやり方

議会も市長のやり方戦いあぐねている

本当は議会がチェックすべき できていない

予算を認めている 木材1億円保管

差別発言ではっきりしたのは、河村市長のたくらみがとん挫している

河村さん、やめさせましょう

議会はダメ 市民が差別の城はやめろというべき

羽田：選挙の問題

渡辺：瑞穂区 建築士

今の状態 MRJ 撤退して社長が首 同じ

河村市長 首になって当たり前ととらえている

市民の声を集めて届けてそのようになるように運動しないと

羽田：河村市長リコールしろ

今後どうしていったらいいのか

櫻井：河村市長 好きではない

市民の意見を聞かない

選挙で何度も当選している事実も受け止めないと

6月3日 拍手が巻き起こったという現実

河村市長に同調する声も

差別的考え方は社会にまん延している どうするか

来年4月1日 差別解消法が改正 事業者が法的義務に

名古屋市も変える 議論をしている

ポイントとしてあった

6月3日問題 吹き飛んだ 細かいところ変えよう

そういう問題を踏まえて議論しないと

来年4月1日 法にあわせたところだけ

細かくかえる 検証委員会の検証を踏まえて議論

翌年度をめどに変える 先延ばしに

差別解消条例 ある程度踏まえた改正検討

皆さんに意見を求める

赤羽：私の発言が波紋を呼んだ 責任

実行委員会の中でどうするのか

個人的な見解

今後どうするか詰めてほしい

これ以上はいいと思う

斎藤：今日の集まり 今までのシンポとは違う雰囲気

個人的見解

名古屋市の推進施策委員

5年前 名古屋市は障害者基本計画 バリアフリーうたい続けてきた

名古屋城触れなかった

「基本計画に入れないとダメ」→市長が決裁出してくれない

触れなかった

一切触れないわけには行けない

名古屋城取り上げない

職員が窒息状態 口をつむんでいる

名古屋市としてよくない状態

やめさせないといけない

選挙めちゃくちゃつよい

河村市長が応援すれば

討論会 差別発言 名古屋しかありえない  
恥の名古屋が広がってる  
会のありかたを皆で議論したい

羽田：自由にしゃべれてよかった

小川：名古屋城アクセスについてもバリアフリー ありがとう  
千田先生にもお話を  
櫻井弁護士 分かりやすいスライドありがとう  
私も平等権、幸福追求権、差別禁止違反  
新しい名古屋城を作るにしても、  
思いが一つにならないければ差別になる  
障害者が排除される形 市民の思いが一つになるわけではない  
いろんな意見いただいて、河村市長 のらりくらりと逃げる  
活動方向を考える  
ありがとう

16:10